

笑顔を守る税

福岡教育大学附属福岡中学校 3年 金丸 桜歌

「行ってらっしゃい！」

デイサービスの車に乗り込む祖母をそう言って見送るとき、私は税金のありがたさを痛感する。

私の祖母はアルツハイマー型の認知症だ。それを知ったときは目の前が真っ暗になる思いだったが、家族一丸となって祖母の病気と向き合っていこうと決意した。しかし、現実には甘くなかった。何度も何度も同じことを繰り返し聞いてくること。毎日話し相手になっても、それを忘れて「誰も相手にしてくれない」と怒ること。支える側の私たちも傷ついたり、悲しんだり、イライラしたり…。お互いに苦しい状況が続いた。

そんな中、我が家に一筋の光が見えた。祖母が要介護一に認定されたことで、社会保障制度の一つである介護保険を受けられる対象となったのだ。これにより、祖母と私たち家族に寄り添い、一緒にこれからのことを考えてくれるケアマネージャーの方の担当も決まった。早速、ケアマネージャーに現状と悩みを相談すると、「デイサービス」を勧められた。デイサービスとは、祖母のようなお年寄りが日帰りで通える施設で、レクリエーションのほか、食事や入浴などの生活援助サービスも合わせて受けることができる。毎日祖母につきっきりだった我が家からすれば、とてつもなくありがたいサービスだった。

祖母の説得なども含め、試行錯誤の末、ようやくデイサービスに通える準備が整った。祖母を送り出した後、うまくやれてるかな、楽しめてるかな、と心配になったが、帰ってきた祖母の笑顔を見てその心配は杞憂に終わったのだと悟った。こんなことがあった、あんなことがあった、と早口で報告する祖母からは、何歳も若返ったかのような活気が感じられた。聞いているこちらにも自然と笑顔が移っていた。デイサービスに通い家にいる時間が減ったことで、言い争いなども減り、家族の負担が軽減したことは紛れもない事実である。それを可能にしてくれた税金には感謝してもしきれない。

これまで私は、税金を何に使うのか、何に役立っているのかと疑問を持つ側の人間だった。しかし、このような出来事が身近で起こって初めて、こんな風に税に救われる人たちがたくさんいるのだということに気づかされた。税というフィルターを通して、計り知れない素晴らしい恩恵を受けた私たち家族。大人になったら、その感謝を今度は税を納める側として返していこう。そう強く感じた。

今日も祖母は元気にデイサービスへと向かう。最後に、税金と、それを納めている人たちへ。祖母と私たち家族の笑顔を守ってくれて、ありがとう。